17

	平成23年行』								業	レ	ビューシー	<u> </u>	(外	<u>·務省)</u>		
事	事業名 震災からの復興をアレ					アピールする式典の開催等			担当部局庁					成責任者		
事業 終了(予	模開始・ 予定)年度	平成2			平成23年度補正予算		担当課室			大臣官房総務課 大臣官房在外公館課 広文部総合計画課			館課		金杉 憲治 植野 篤志 小野 日子	
会計	†区分	一般会計					施策名			皿-1 海外広報,文化交流						
(具	処法令 体的な も記載)		外務行	外務省設置 省組織令第	置法第4条 3条及び第26条			関係する計画、 通知等		•						
(目指)潔に。	の目的 す姿を簡 3行程度 (内)	大震災から1周年に際し、被災者の鎮魂を祈るとともに、大震災に際しての各国からの様々な支援に対する謝意を改めて表明する。また、直近の状況を見極めた上で、大震災からの我が国、特に被災地の復興を各国にアピールすると同時に、風評被害対策の一環となり得るメッセージを効果的に発出する。														
(5行程	集概要 !度以内。 添可)	(1)式典は大規模レセプション形式で開催する。公館長からの挨拶において、上記1のメッセージを表明する。 (2)開催場所として公邸を推奨する。 (3)被災地のPR(物産の展示、パンフレットの配布、DVDの上映等)を行う。 (4)被災地産の食材、日本酒、ワインを活用する。 (5)観光プロモーションを行う。 (6)式典の開催及び復興状況の広報のため、紙面買上げを行う。														
実施	恒方法	■直	接実施]業務	委託等		口補助			□貸付 □		の他			
					20年			21年度			22年度		23年度		24年度要求	
		当初予算		-		_			_		_					
24	Mr da	算補正予算の		_		_	_		_		304					
執	算額· 行額	状	状 繰越し等		-		_	_		_		_				
(単位	:百万円)	況		計	- 1		_			_		304				
		執行額		額	_			_		_						
		執行率(%)		(%)	-			_			_					
				成果	指標				単位	ż	20年度		21年度	22年	度	目標値(年度)
成果目標及び 成果実績 (アウトカム)		各国からの支援に対する謝意を示すとともに、 日本からの輸出量及び日本への観光客数の状 いなみまする					成果実績			-		-	-		前年度比増	
		況を改善する。 						達成度	%		-		-	-		
				活動	力指標			単位	ב	20年度		21年度	22年度		23年度活動見込	
活動	指標及び 助実績	■世界205箇所の在外公館			・館において,復興を各国 ニ風評被害対策・日本産			活動実績					_	_		
(アウ	トプット)	品PF	マに資す		-風評被告対策・日本座 ジを発出するための式典			(当初見込					_			
		を開催する。					み)								(205)	
単位当たり コスト		(円/)		算出根拠												
	費 目		目 23年度当初予		予算 24年度要求			主な増減理由								
平成23・24年度予																
算 内 訳																
	計															

事業所管部局による点検										
	評価	項目	特記事項							
目的	0	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。								
状・況予	0	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。								
第の	_	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。								
資金	_	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。								
の	_	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。								
使れる	0	受益者との負担関係は妥当であるか。								
費	0	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。								
目	0	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。								
活動	0	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。								
実績	0	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。								
•	_	活動実績は見込みに見合ったものであるか。								
成果実:	0	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか								
実績	_	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。								
点検結果	点 検 東日本大震災発生後1周年の機会を捉え、諸外国からの支援に対する謝意、わが国の復興の姿を発信することは、風評被害対策上、有効 かつ必要性が高い。 果									
		予算監視・効率化チームの所見								
	_									
		上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概	算要求における反映状況等)							
_										
補記 (過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)										
紙面買上げについては式典実施のタイミングとあわせて実施するため、相乗効果が期待される。										

	※平成22年度実績を記入
資金の流れ	
(貧金の受け取りたがなった。	
り元が凹を行う	
て補足する)(単	
資金の流れ (資金の受け取 り先が何を行っ ているかについ て補足する)(単 位:百万円)	

		A.			E.			
	費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金額(百万円)		
			(Д/311/			(17311)		
			0	計		0		
	ĒΙ		0	ĒΙ	-	0		
	# 0	B.	金額	# 0	F	金 額		
	費目	使 途	(百万円)	費目	使 途	(百万円)		
費目・使途 (「資金の流れ」								
リーナソングデロー								
において最大の クででは、 大きに、最大されていいで、 で記載する。費 目と使途の双方で実情が分かる ように記載)								
を ないる者につい								
て記載する。費 目と使途の双方								
で実情が分かる								
よりに記載)	計		0	計		0		
		C.	I	G.				
	費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金額(百万円)		
			(17311)			(17311)		
	計		0	計		0		
	ĒΙ	D.	0	H.				
	費目	使途	金額(百万円)	費目		金額		
	具 口		(百万円)	其 口	汉 迩	金額(百万円)		
	計		0	計		0		

支出先上位10者リスト A.

A.					
	支 出 先	業務概要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					